

## ダム・堰運用による水位変動、攪乱の増大の検討

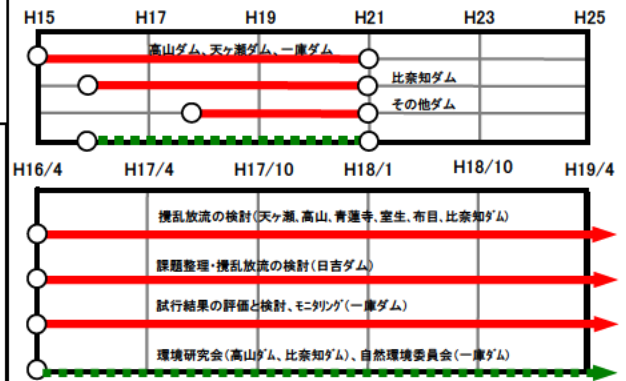
### ●具体的な整備内容

・治水や利水への影響を考慮した上で、水位変動や攪乱の増大を図るために有効な操作方式や放流量等を検討し、試験操作を踏まえてダム・堰の適正な運用を検討する。  
 ・流況の平滑化等に伴う河川環境に対する影響を改善するために、水位変動や攪乱の増大を図る試験操作を実施し、適切な運用に向けて検討する。

### ●事業費

### ●スケジュール

— 検討 — 委員会 — 実施



### ●事業の数量・諸元等

### ●整備効果

フラッシュ放流によりダム下流の藻類のリフレッシュ、シルトの掃流が期待できる。

### ●提案理由(代替案含む)

ダムの下流では、河川の水位変動が少なくなったことにより  
 ・藻類のリフレッシュの機会が少なくなった。  
 ・シルト分が堆積したままとなっている。  
 可能性があり、河川環境に影響を及ぼしていると考えられる。

## ダム・堰運用による水位変動、攪乱の増大の検討

### 委員会等からの意見

ダム・堰運用による水位変動、攪乱の増大(既設ダム)は、検討および試行が必要である。検討および試行に際しては、下記事項を考慮されたい。

- ・生態系の現状と改善の可能性、効果が及ぶ範囲等に関する情報は、各事業の重要性を示すもので、明らかにする必要がある。
- ・下流の生態系の変化等についても試行後のモニタリング・評価を行う。
- ・魚類に関する事項もモニタリング項目に含める。
- ・十分なモニタリングに基づき、順応的に放流の時期・方法・放流量を決めていく必要がある。

### 進捗状況

H14～高山ダム、H15～一庫ダム、H16～比奈知ダムで試行的にフラッシュ放流を実施。

- ・高山ダム、比奈知ダム及び一庫ダムでは、フラッシュ放流時に併せて、付着藻類調査等を実施し、フラッシュ放流実施における下流河川の環境改善効果について検討を実施している。

### 進捗状況

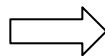
状況写真(ない場合はイメージ図あるいは図面)

比奈知ダムフラッシュ放流状況写真 ダム放流量 30m<sup>3</sup>/s(平成17年5月10日実施)

四間橋地点



右岸下流より下流を望む(放流前)



右岸下流より下流を望む(放流中)

### 今後の見通し

高山ダム、一庫ダム、比奈知ダムでは、試験(フラッシュ)放流を継続する。

また、日吉ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、天ヶ瀬ダムについては、試験的な攪乱放流についての検討、試験運用を予定。